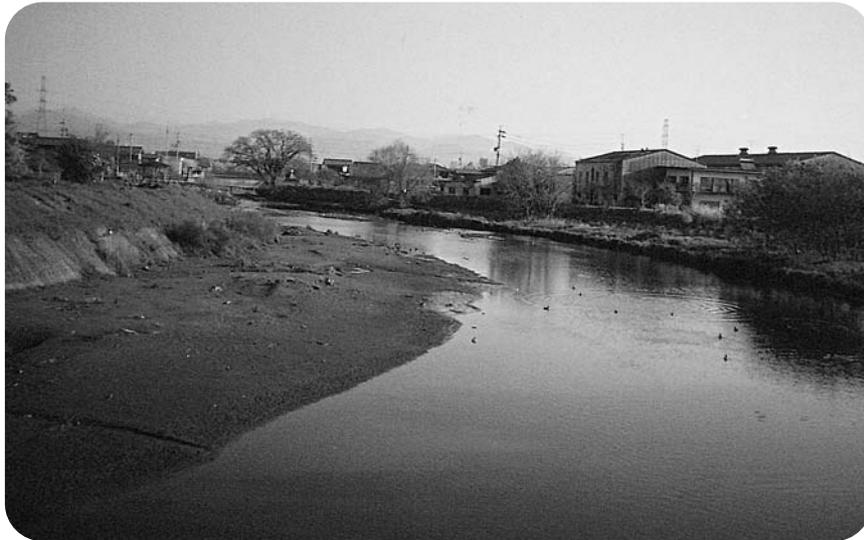


河川管理について

杭瀬川には堆積土が多くある。中川との合流点は、溜池の役割を果たすよう川幅が広くとってあるが、現状は堆積土が両岸を埋め川幅も半分。梅雨までに地域住民が安心してきる撤去工事が出来ないか。

町長

池田町も大きな被害を受けた。地元の河川を守る会の方からの陳情要望も受けた。緊急に県土木と連絡を取り、合流点から関連がある上流部分を千m対応した。地元で一時的に仮置きし、その後処理ということで新年度から対応していく。杭瀬川全体のことなので、地域の方々と一緒に実行していく。



杭瀬川の堆積状況

通学路の安全確保について



危険!! 車両とすれ違う児童達

国道417号線の渋滞緩和策として計画された片山神戸線が、国道から産業道路として工場車両だけの時は問題なかった。現在交通量がふえたその交差点は、通学路と通勤車両と対面交通でキケンである。地区ボランティアの方々の指導で安全性を保っているのが現状であるが、この路線の予定コースはどうなっているか。

町長

西幹線から浜南・市橋の中心町道を通り大垣方面へ抜けることで、信号の少ない道路を選び走行されることも事実です。平成7年の都市計画区域の決定を受けたとき、路線を選択して岐阜関ヶ原線までルート選定した。南へ向けてのルートが検討されたが棚上げになっている。今の道路を拡幅する方法で地域の方々の用地関係を含めご理解をいただき、少しでも着工できる分があれば今後検討していく。